

商店街からみる砂町

ピックアップ: 安心して歩く人と触れ合いのあるまち



①砂町銀座商店街
北砂に位置お全長
約670mの商店街。

②小名木川小学校前
砂町文化センター通り
と稲荷通り商工会との
T字路。

③商店街駐輪場
砂町銀座商店街の
西口に位置する。

④明治通り
道路幅に対し歩行者
と自転車の交通量
が多い。

木造住宅密集地域

～志村研究室での活動～

2018年9月、2017年7月
空店舗活用社会実験
「模空展示イベント」
「目標セッションイベント」

空店舗を活用したイベント
を行い意見を得る。

2019年11月
空地活用実験1
「即席駄菓子屋」

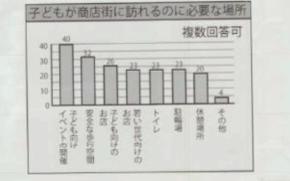
子どもを対象としたイ
ベントを行い意見が
得られる。

2020年10月
空地活用社会実験2
「即席パワーカー教室」

店舗経営者と協力してイ
ベントを行い意見が得
られる。

～砂町銀座商店街の将来像～

学生の過去のイベントを通して「商店街の将来あるべき姿」を商店街部会で議論・検討を行った。
「安心して歩ける。」「人と人との触れ合いがある。」
「商店が盛んで活気がある。」



北砂三四五丁目地区まちづくり協議会		
商店街部会	防災活動部会	住環境部会
・商店街空間のあり方検討。 (防災性向上・景観形成)	・防災マップ作成。 共有防災訓練。	・住宅市街地のまちなみ空間 のあり方検討。 (防災性向上・景観形成)

～魅力と課題～

柳瀬さんのインタビューを通して

令和3年5月22日実施



柳瀬 洋平さん
砂町銀座商店街振興組合理事長を
務めながら、自身も商店街内に
雀かふ「Willow Tree」の店主として
ご活躍されている。

参加者: 志村先生 柳瀬理事長
学生: M2 安達 M1 渡邊
M1 岩間 鈴木 平木
B4 野呂 峯村

- ・砂町銀座商店街内での自転車の利用が問題視されている。駐輪場を商店街の外側に作り子ども連れなどの若い人にも来てもらえる安全な空間にしたい。
- ・商店街全体の景観については、舗装や街灯、アーケードなどで統一感を出しながら、それぞれの店舗建築でバラエティを出したい。
- ・砂町文化センター通りの道幅が狭く、小名木川小学校前のT字路では、車、自転車、歩行者が接触しないが不安である。商店街を横切らないために北側のT字路に抜ける人が多いのではないかと。
- ・南砂町については、ショッピングモールが2つあることから、住みやすさといった面は見受けられる。しかし、地域全体としての特色が見えづらい。
- ・明治通り側のバスは本数が多いが、丸八通り側は少ない。バス停の設備も改善すべきという声が上がっている。また「銀座商店街前」など、バス停の名前を分かりやすくすべき。

～提案～

○景観重点地区としての整備



- ・歴史的なまち並み保持のための景観形成
→周辺に歴史的な資源等がある場合の
規制の徹底。
- ・広がりや連続性のある景観の形成
→クローバー橋や北十間川のような
つながりを旧中川・荒川付近
に持たせる。

○砂町地区における交通面の改善

・砂町銀座商店街
周辺だけでなく、広い地
域での駐輪場の整備
→商店街へのアクセス
や緑道での自転車の
利用が多い。
明治通りと丸八通り
側の整備の負を
あげる。

・バス交通の整備
→バス名の改善。丸八通り側のバスの運行状況の見直し。回遊性バスルートの追加。



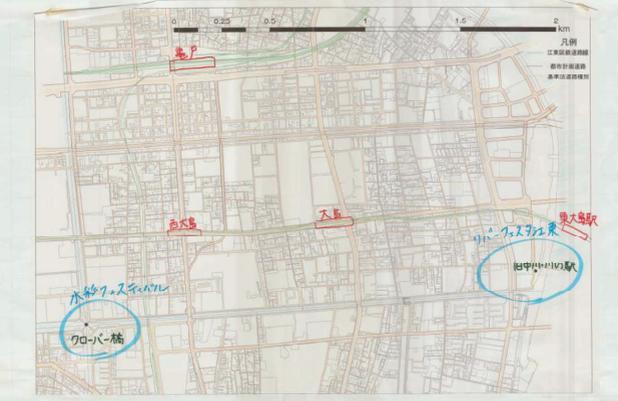
まちづくりヒアリング ～江東区の水辺に親しむ会編～

ヒアリング概要
水辺に親しむ会の須永徹子さんにヒアリング調査を行い、城東地区で行われている活動の担いや工夫を聞く。として、今後の面的なまちづくりに活かす動向を学ぶ。

実施日時: 2021年6月16日 水曜日
実施方法: オンライン
参加者: 須永さん、志村先生、M2安達、M1渡邊、岩間、B4野呂

須永 徹子さん
NPO法人 江東区の水辺に親しむ会 理事長
江東区内の水辺を活用したイベントを行い、まちづくり活動に貢献している。

江東区の水辺に親しむ会とは
江東区にある水辺に親しみながら、地域と一緒に水辺を考えたいという思いから始まった。水彩フェスティバル、お江戸深川さくらまつり、豊洲運河まつりを経てリバーフェスタ江東へと繋がって来り、川の過去の歴史や川と地域の現在を考える水彩フェスティバルなど活動の幅を広げている。



ヒアリング調査

オリバーフェスタ江東について
イベント名である「こがし水辺ゆえん」は企画会議を行い、水際に地域の方が考えたものを、地域住民が旧中川を掘り立てているのが現れている水辺に親しむ会は地域住民の思いをくみ取り、イベントの企画が本気で進められるように、水辺の魅力を伝える活動を行っている。これは、水辺の魅力を伝える活動を行っている。これは、水辺の魅力を伝える活動を行っている。

水彩フェスティバルについて
フロア橋ができてから毎年行っており、大島、兼江、扇橋の4地域を繋ぐイベントである。かつてイベントを行っていた江東区のあるところから、地域同士のつながりが感じられ、地域の方は橋の通例のようになっている。

ベランダ緑化について
江東区が委託を受けており、昨年の4月棟のマンションで緑化活動を行った。その取り組みが核となってコミュニティを広げることが狙いである。

コロナ禍で行った活動について
6月13日に旧中川川原駅で全日本防災の会主催で輸送トラックの荷台を舞台としたフェスティバルが開催された。イベントは日常とはかなり離れているもので、色々とあることに気がつく。継続性があるものがよく、住んでいる地域で日常の中イベントのようになり、水辺に親しむ会が良いなと思っている。

ヒアリングを踏まえた提案について

テーマ: まちと水辺の接続

まちの地域資源である河川、その水辺がまちとつながり地域と一体になる事でまちの賑わいと水辺の潤いが交差し、新たな魅力につながる。そこで、大島中の橋商店街がある通りをまちの賑わい軸として捉え、その軸線上においてまちと水辺が接続する提案を行う。

提案

①: カワマチガーデン(コミュニティーガーデン)

小名木川付近にある中学校等の周りにコミュニティーガーデンを設置し、水辺からまちへと緑化が連続するよう計画する。水辺との接続だけでなく、ここを利用する住民や学校の生徒等で交流も生まれる。



②: 橋上緑化(コミュニティーガーデン)

河川という要素からまち同士をつなぐ橋の上にコミュニティーガーデンを設置することで、ただの通路としての役目だけでなく、住民同士のコミュニティーや水辺に親しむ機会が増える。そして、水辺からまちへと連続した緑化が可能となる。



③: 道路幅員一部拡張

小名木川沿いの一方通行道路を一部拡張し、徒歩や自転車を利用する人がより安心してゆったり通行できる様にする。また、先述のカワマチガーデンとも関連して整備することで水辺空間でのコミュニティー創出を促進する。

■大島中の橋商店街について

1918年(大正7年)に堅川に架かる中の橋が落成し、これに因んで命名された商店街。100年以上の歴史があり、地域の台所として親しまれている。



石少町の歴史と緑と街をつないで

～野知さんへのヒアリングを通して～



○ヒアリング対象

野知 菜穂美さん
江東区都市整備部地域整備課に所属。江東区在住で、志村研究室の卒業生。

日時：令和3年6月21日(月)

場所：志村研究室

参加者：野知菜穂美さん
志村先生

M2：安達

M1：岩間、鈴木、平木、渡邊

B4：峯村、野呂

ヒアリング調査

○荒川沿いで取り組みについて

- ・江東花火大会が毎年行われている。
- ・川沿いは、まつなかに比べて開放感がある。コロナ禍で遠出が出来ない為、そういった地域の魅力に気づき易くなる。また、日常利用へと変換するチャンスでもある。



江東花火大会(ESHPF)

○南砂の魅力や印象について

- ・富賀岡八幡宮が地域にとってどれくらい大事なもののかを調査するといい。また、(南砂の魅力として)例大祭など文化的なものを確認するといい。



富賀岡八幡宮(境内)

○野知さんが思う「仙台堀川」、「横十間川親水公園」のイメージについて

- ・「仙台堀川」は北側の改修工事後が楽しみ。カワセミ目当てで来3人がより、私も楽しみにしている。
- ・「横十間川親水公園」はクローバー橋から北側の木道が仮設。老朽化が進み不安。北側から耐震の整備が進んでいる。
- ・地方に比べて公園は綺麗で、しっかりと整備されている。その事に気づいた方がいいと思う。



横十間川木道(大島)

マップ



提案

① 神社を核とするコミュニティづくり

南砂の富賀岡八幡宮では、2年に1度お祭りが開催され、神輿が地域を巡行する。砂町地区には他にも多くの神社があり、コミュニティの核になりうる。神社が住民から親しまれるよう、砂町地区の神社を地図にまとめだ「神社マップ」を作したうえで、境内を日常的により活用できるように神社に働きかける。



② 緑のネットワークの質向上

砂町地区を囲う公園と、そこから繋がるコミュニティガーデンによって、緑のネットワークを形成する。小名木川沿いでは自転車専用レーンを用意し、仙台堀川公園や城東区民公園へのアクセスを向上する。また、横十間川親水公園の木道の整備や公園と緑道の接合を快適にし、周遊性の向上に繋げる。



仙台堀川公園と城東区民公園のアクセス

③ 舗装改善と電柱地中化

砂町銀座商店街の入口を暖か味のある茶系色の舗装をすることにより、自転車を減速させる。また、電柱の地中化を行い、歩きやすい商店街にする。商店街店舗の方々に声掛けなどの協力をして頂き、自転車に対する改善を行う。



砂町銀座商店街への自転車進入抑圧(舗装計画)